



社会福祉法人 昭友会の地域との取り組み

インタビュー 代表者：渡邊 修太郎 氏

高島中学校区情報

世帯数

9,470世帯

人口

20,754人

高齢化率

26.4%

活動のきっかけ

昭友会（たくふう会グループ）では、地域行事や活動への参加などを通して約20年に渡り地域と共に歩んできました。法人理念である「地域との連帯・共生」をもとに、法人全体で地域での取り組みについて考え、活動を行っています。

地域の皆様と「共に同じ目的に向かい、共に汗を流すこと」を大切に活動しています。

活動内容

【岡山市中区基幹型 認知症カフェ「ぼかぼか」
（岡山市高齢者福祉課事業）】

当カフェは平成27年より認知症の方とご家族、地域住民の皆様など誰でも参加することができ、集える場所として開催しています。「ぼかぼか」という名称は、旭竜小学校の児童から募集して名付けられました。

カフェでは認知症サポーター養成講座を実施して認知症への理解を深めること、健康に関する講話や体操、季節の行事などを行っています。

また、公民館でのサテライト相談も行っています。カフェの運営は、民生委員や地区社会福祉協議会の皆様と行っています。地域の皆様と一緒に運営することで、来られる方も安心して参加することができます。参加者からは「顔見知りや友人に会えて前向きになった」「お互いに安否確認ができたり、近所のスーパーで挨拶したり、出会いに感謝」などの声があり、カフェに来て顔を合わせることの大切さを感じています。

広報として「ぼかぼか便り」を月に1回発行し、町内で回覧と、ホームページやフェイスブックなどにも掲載し、情報発信を行っています。

日時：第2月曜日・第4木曜日13：30～15：45

場所：旭竜コミュニティハウス



The image shows a collection of promotional materials for the 'ぼかぼか便り' (Bokaboka Bunko) newsletter. It includes covers for 'vol.10' (October 2022) and 'vol.9' (September 2022), along with various activity flyers and informational cards. The materials feature colorful illustrations and text in Japanese, promoting community events and services for dementia support.

【多様な団体との連携】

旭竜学区支え合い推進協議会への参加や祇園支え合いネットワークへの参加といった多様な団体との協力・連携を通して、地域の皆様と支え合いの地域づくりのためにできることについての話し合いに参加しています。

また、令和2年9月からは、旭竜助け合い隊のサポーターとして、地域の皆様からの介護相談にも対応しています。



■工夫していること

「ぼかぼか便り」の発行など、コロナ禍でも情報発信をしたり、参加されていた方にお手紙を出すなど、これまでにできたつながりを途絶えさせないように工夫をしています。

活動実績・効果

効果としては地域の皆様の近くで活動や仕事をする事で地域づくりに参画できることです。そして困りごとがあった時に直ぐ相談していただけることも大変有り難く、嬉しいです。

また、継続して関わりを持たせていただいていることは、スタッフ育成にも良い面がたくさんあります。学校や資格取得の為に勉強を経て、就職した後に地域福祉のことに興味があっても実際は現場の業務に明け暮れ、地域活動が実施できていないことが多くみられます。反面、当グループは全体で「地域交流委員会」として活動しており、スタッフが積極的に地域活動に取り組んでいます。

今後取り組もうとする方に伝えたいこと

昭友会（たくふう会グループ）は約20年前の活動当初、「健康教室」を定期的で開催していましたが、地域の皆様の参加が少ない時もありました。その後、認知症カフェの運営・広報誌の継続した回覧の機会をいただいたことは大きいです。また継続的に地域行事へ参加させていただいたことは有り難いことです。

既に地域で実施されている行事や活動に参加させていただくことが、地域の皆様と共に歩いていく一歩だと思えます。地域活動に積極的に参加し、地域の皆様とのつながりを作っていくことが大切だと思います。

これからも、地域の皆様にとって困った時だけではなく、いつも身近にいる存在として歩いていきたいと思えます。

